洗面器用サーモスタット混合栓取付説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

完　成　図

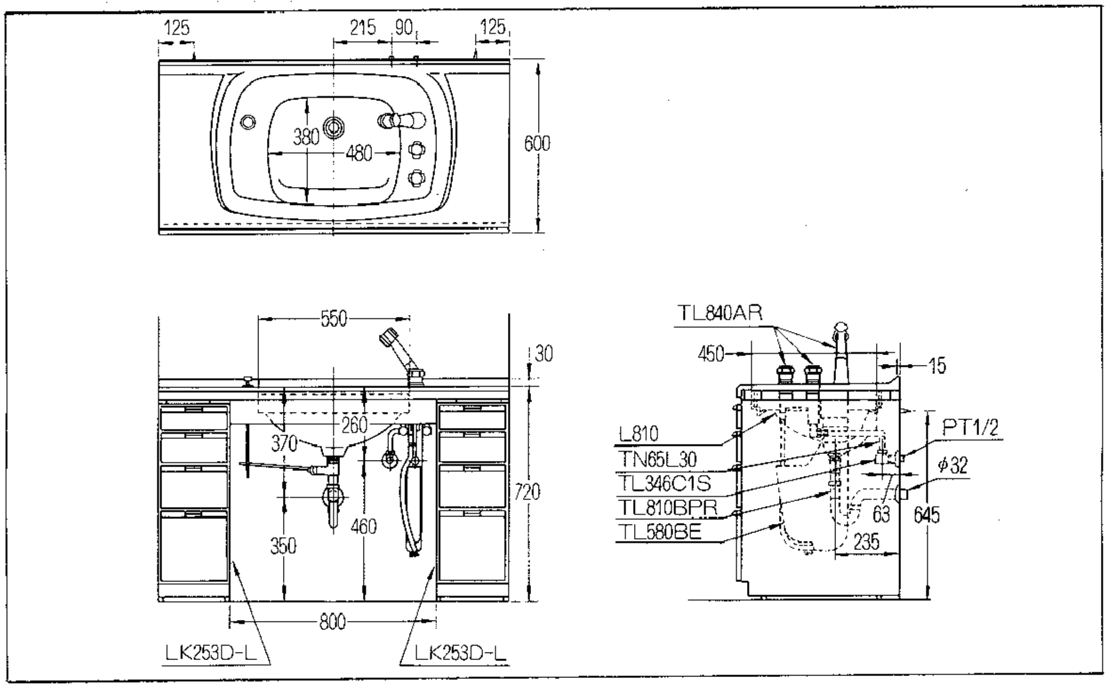
器具明細

品　番	品　　名	数
L810又は L811	洗面器	1
TL810PR	金具一式	1

Sトラップをご使用の場合

TL810SR	金具一式	1

下図はTL810PRとL810のセットを示します。



使用条件

1．使用水圧

(1)ガス瞬間湯沸器と組合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧……(下表参照)
最高水圧…………6.0kgf/cm² }

器具入口部における最低必要水圧(kgf/cm²)

湯沸器タイプと号数			最低必要水圧
従来タイプ		8号	A+0.8
		10号	A+1.1
		12号	A+1.9
比例制御タイプ	TOTOカスタムシリーズ	13号	0.9
		16号	
	TOTOトリコンシリーズ	16号	0.75
		20号	
		32号	

注）TOTOカスタムシリーズでは、湯沸器の温度を60℃にした場合、表中の数値より0.2kgf/cm²多く必要になります。
表中のAは湯沸器の最低作動水圧を示します。
(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

〈設定条件〉

- 開閉ハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は最高温度に設定
- 夏季水温：25℃
- 冬季水温：5℃
- シャワー吐水温度：42℃
- 給湯配管長さ：5m

a）従来タイプの場合

- 湯沸器が着火する下限の圧力とする。
- 季節は水温の高い夏季とする。

b）比例制御タイプの場合

- 7ℓ/分の吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。
- 季節は水温の低い冬季とする。

(2)貯湯式温水器と組合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.5kgf/cm²
最高圧力…………6.0kgf/cm² }

給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
給水圧力が6.0kgf/cm²を超える場合、市販の減圧弁で2.0kgf/cm²程度に減圧してください。

2．給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。ただし約70℃以上の温水は出ないようにしています。

3．給湯に蒸気を使用しないでください。

4．湯・水を逆配管しないでください。

なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

5．取付後の保守点検ができるように必ず止水栓を設けてください。

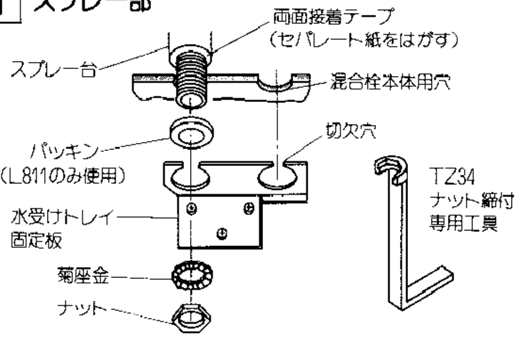
器具の取付け

1．給水・給湯管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

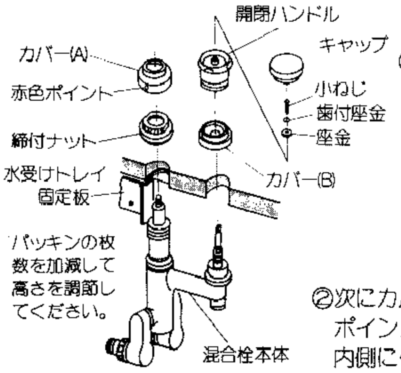
2．器具の取付け

1 スプレー部



●スプレー台を固定するときは、取付穴周囲の汚れを取り、セパレート紙をはがして固定してください。またスプレー台は、陶器排水口に向くよう注意しトレイ固定板は混合栓穴に切欠穴中心をあわせて別売のナット締付専用工具（TZ34）で確実に固定してください。

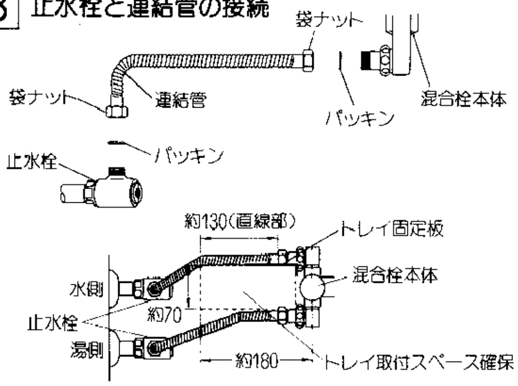
2 混合栓本体部



①トレイ固定板の切欠穴に混合栓本体を入れ、締付ナット(A)・(B)で固定してください。

②次にカバー(A)を赤色ポイントが洗面器の内側にくるよう本体と直角に取付けてください。

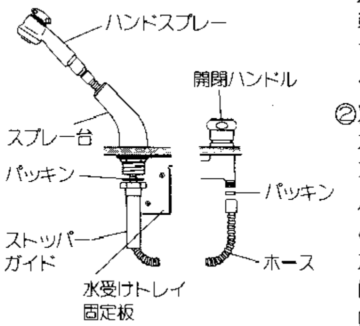
3 止水栓と連結管の接続



①まず、水側の連結管を接続してください。そのとき、トレイの取付スペースを確保しながら接続してください。

②次に、湯側も同じように確保しながら接続してください。

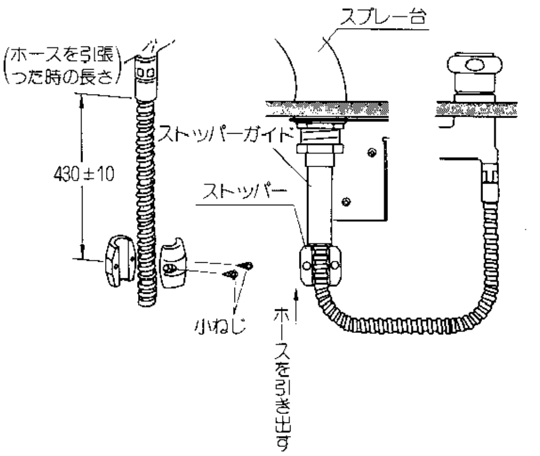
4 ストッパーガイド・ホースの接続



①スプレー台に、ストッパーガイドを別売のナット締付専用工具（TZ34）で確実に締付けてください。

②次に、スプレー台にホースを差込み、本体の開閉ハンドル側と接続します。このとき、ホースがねじれないように取付けてください。

5 ストッパーの取付け



●ストッパーを、図の位置にしっかりと取付け、ハンドスプレーをいっぱいに引出したときストッパーがずれないこと、及びホースにゆとりのあることを確認してください。

温　度　調　節

工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状態などによって、温度調節ハンドルのダイヤル目盛どおりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

なお、調節する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓が全開になっていること。
- ストレーナのごみづまりがないこと。
- 十分な温度(使用する温度より10℃以上)のお湯がきていること。

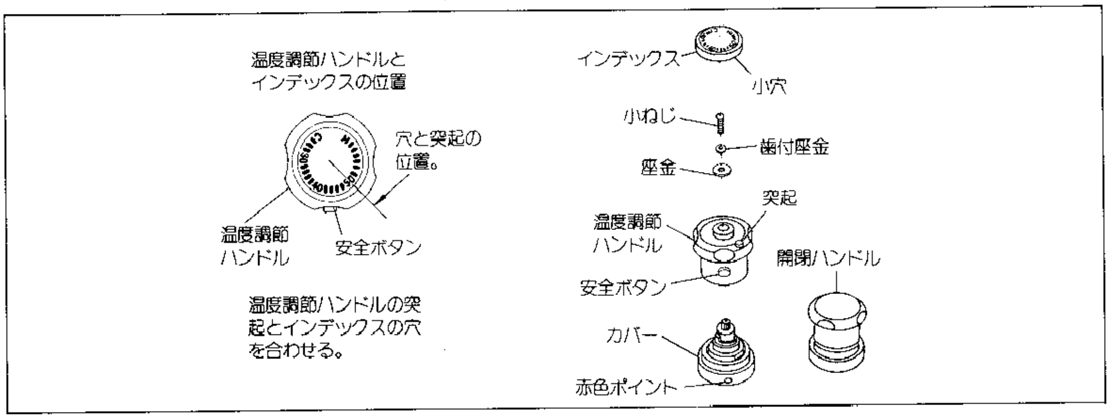
〈調節要領〉

(1)スプレーより吐水させて温度調節ハンドルのダイヤル目盛に関係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。(高温側へ回すときは安全ボタンを押してください。)

(2)その位置で温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜きとってください。

(3)インデックスの「40」の文字と赤色ポイントを合わせてはめ込みます。

(4)いったんインデックスを温度調節ハンドルからはずし、温度調節ハンドルを小ねじで固定したのちインデックスをはめ込みます。



ストレーナの掃除

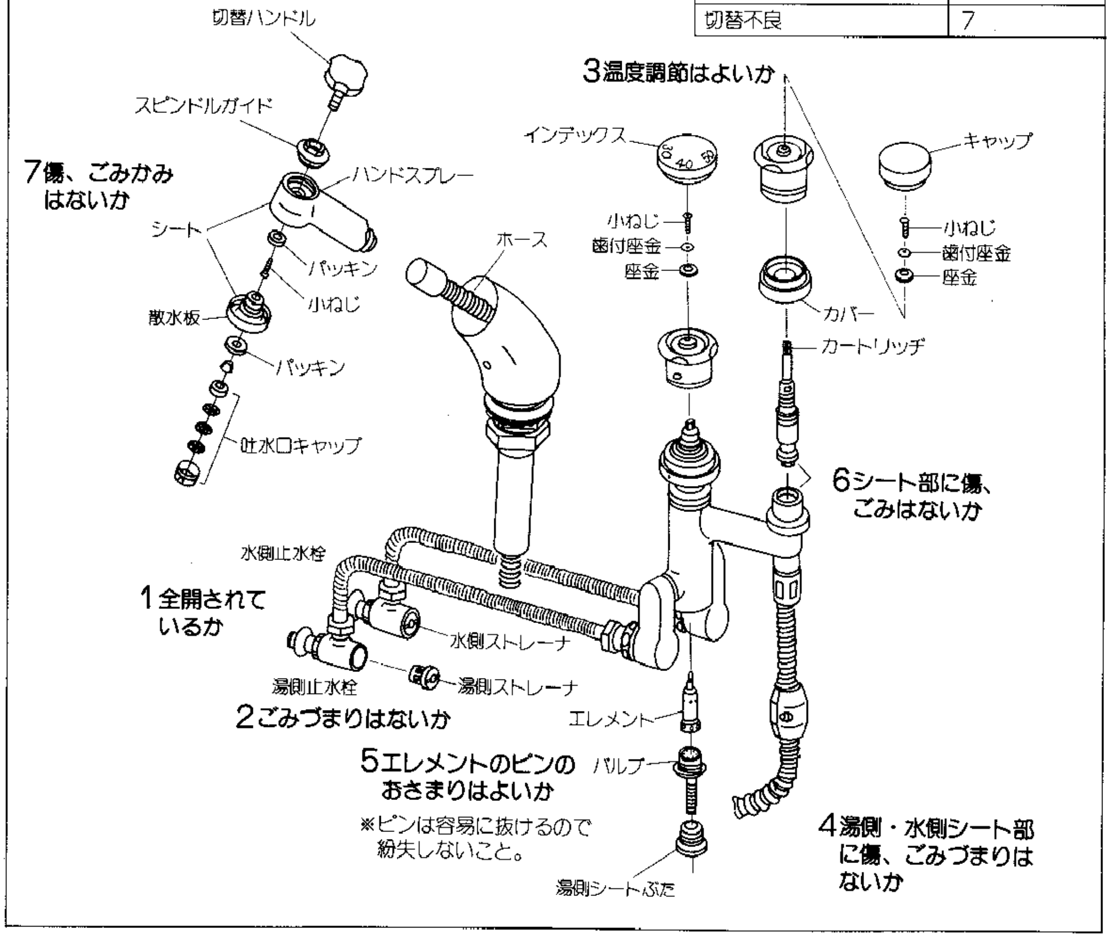
ストレーナがつまると吐水流量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

お　手　入　れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様に次のお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんからこまめに柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でみがくこと。ただし、樹脂部（ハンドル・ハンドスプレーなど）に付着すると光沢を失うので、付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など、粗い粒子を含む洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。
  もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

分解と点検

取付後、万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検個所	
吐水流量が少ない	1.2
高温しか出ない	1.2.3.4.5
低温しか出ない	1.2.3.4
ダイヤルどおりのお湯が出ない	1.2.3.4.5
水がとまらない	6
切替不良	7